

広報誌



 TAKEMOTO  
HOSPITAL

# 菜の花だより

あなたのための医療でありたい

謹賀新年

第47号  
2018年1月  
発行



日本医療機能評価機構  
認定病院



医療法人創治 竹本病院



# 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。  
今年 は 診療報酬・介護報酬が6年ぶりの  
同時改定の年であります。昨今の医療・  
介護の状況は極めて厳しいものとなっ  
ております。今年の同時改定により、団  
塊の世代が75歳以上になる超高齢化社  
会を前に、効果的な医療・介護の体制を  
整える必要があります。

そのためには医療・介護費の抑制により  
持続可能な社会保障制度に整備する事が  
重要であります。具体的には入院患者さ  
んを減らし、地域の医療や介護サービ  
スを受けながら在宅で加療を受けられ  
る高齢者を増やす事が理想的な医療費  
の抑制と考えられます。高齢者がリハ  
ビリを受けやすくし、運動機能の回復  
や、一度回復した機能を継続的に維持  
するための需要

が大きいのので、今後私どもの病院もリハビリ部門の充実、ならびに医療の質の向上をしていけるように取り組み、地域の皆様に少しでも医療、介護のお役に立てる施設になれるように努力する所存であります。

院長 竹本範彦



# 第19回

## 竹本病院関連施設合同発表会 開催



平成29年11月18日に第19回関連施設合同発表会を白藤園のホールにて開催いたしました。竹本病院では毎年一回、当院及び当院関連施設によって、業務に関わる研究発表の場を設けています。この年一回行われる「合同発表会」では毎年、様々な職種の方々に発表いただいております。日頃の努力の成果が見て取れる素晴らしい研究成果が挙がっています。又その研究成果を参考にしようと、近隣地域の医療、施設関係の方々が多数出席され、発表する側、聞き手側の両方に実りあるものとなっております。なお、今年度は平成29年8月1日より開設された小夏（有料老人ホーム・グループホーム・ヘルパーステーション）も参加され、自施設の紹介や取り組みを発表されました。第Ⅱ部の講演では、講師として当院の山本さくら医師が講演いたしました。「在宅および施設における看取りを含めた在宅療養支援」というテーマのもと、経験豊富な先生の体験談もふまえた講演で、どなたでも理解しやすい内容であった為、大変有意義で興味深い講演でした。この合同発表会では施設を越えて情報を共有し、それぞれの立場から皆さんと一緒に考え現場に持ち帰り、実践する機会になる事を目的に開催しています。



「在宅および施設における看取りを含めた在宅療養支援」  
講師：山本さくら 医師



「夜間せん妄患者の援助」  
～身体拘束解除にむけての取り組み～  
渡川病院 原 琴美・中村 理江



「施設内ターミナルケアを経験して」  
かしま荘 岸本 日出夫



「小夏の紹介」  
グループホーム小夏 島崎 文代  
有料老人ホーム小夏 平林 哲朗

### I 部:演題発表

- ① 「夜間せん妄患者の援助」  
～身体拘束解除にむけての取り組み～  
渡川病院 原 琴美・中村 理江
- ② 「施設内ターミナルケアを経験して」  
かしま荘 岸本 日出夫
- ③ 「小夏の紹介」  
グループホーム小夏 島崎 文代  
有料老人ホーム小夏 平林 哲朗

### Ⅱ 部:講演

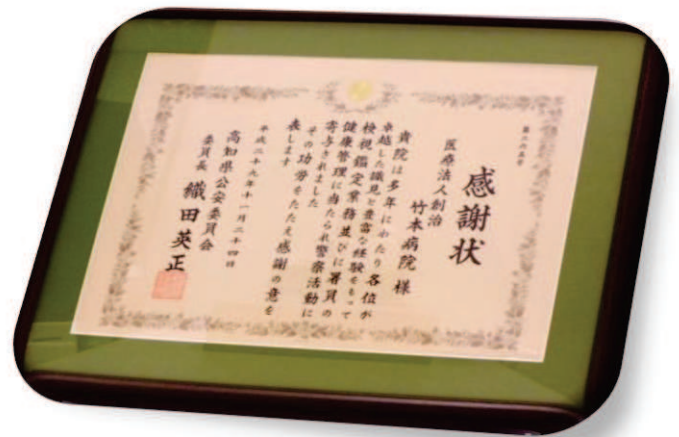
「在宅および施設における看取りを含めた在宅療養支援」  
講師：竹本病院 山本さくら 医師



# 高知県公安委員会より表彰されました



平成29年11月24日、県警本部講堂において高知県警察表彰式が行われました。、多年にわたり警察活動に協力した、団体などを表彰するというものですが、この度、当院にもお声が掛り、出席をさせていただきました。表彰式では、織田委員長より、遺体の検視鑑定業務、及び中村警察署の産業医として中村警察署員の健康管理に協力したことに対する功勞に対し、感謝状を授与されました。竹本病院は、これからも地域の為協力させていただきます所存でございます。



## 第十一回 院内実践発表会

当院では年1回、症例研究・実践の発表を行っております。日常業務を理論付け、文章にし、客観的に見て疎かになっていることや、今まで気がつかなかった事柄などを洗い出し、発表することで今後の業務につなげていくというものです。

今回は、看護部の看護師、岡村裕子さんとリハビリテーション部の訪問リハビリ担当、白石翔人さんが発表を行いました。発表者2名共、自分が携わった医療研究について、熱心に語っており、他職種の方々も引き込まれるように聞き入っていました。





# 認知症予防体操

今回お伝えする、体操は「コグニサイズ」というもので、認知症予防や軽度認知障害の認知機能の維持・向上に役立つ運動です。コグニサイズは単に体の運動だけでなく、頭の体操を加えた、様々な取り組みから成り立っています。しかも、どこでも誰でも簡単にできるようになっています。

## ～ コグニステップ ～

1

両足で立って、しっかり考えながら1から順にかぞえ、「3」の倍数では手をたたきます。

2

ステップを覚えます。  
①右足を右へ ②右足を戻す  
③左足を左へ ④左足を戻す  
①～④を繰り返し、リズムよくステップします。



①右横に大きくステップ。

②右足を戻す。

③左横に大きくステップし手をたたく。

④左足を戻し、①に戻る。数字はどんどん増やしていく。

※最初は頭が混乱しますが、それは脳が必死で考えようとしているという事なので、上手にやることよりも、混乱しながら続けていくことが大事です！

## 実施の注意点

ストレッチをしてから徐々に行う

「ややきつい」と感じるくらいの運動量

体操中の転倒に注意する

少しの時間でも毎日続ける

痛みが起きたら休息をとる

継続がもっとも大事



# 竹本病院・治優園・小夏 合同忘年会



昨年末、毎年恒例の竹本病院及び治優園、小夏の合同忘年会を四万十ロイヤルホテルでおこないました。

今年からは新たに開設された小夏の皆さんも参加され、総勢240名の参加者は、おいしいお料理や、余興など皆さん満足している様子でした。

余興後半のくじ引き大会では、旅行券や大型液晶テレビなどの豪華賞品がだされ、大盛り上がりとなりました。治優園、小夏、各メーカーの方々、当日はご参加いただき誠にありがとうございました。

❀ みんなでワイワイ楽しい忘年会になりました



## クリスマス会

平成29年12月13日

病院内でクリスマス会をおこないました。



12月13日に、回復期リハビリテーション病棟にてクリスマス会をしました！体操をしたり、みんなでクリスマスの歌を合唱したりして皆さん楽しんでくれています。締めくくりには、厨房スタッフの方が、ケーキの盛り付けを実演披露！みなさん「美味しそうっ」と、楽しみながら見とれていました！実際に目の前で作られたケーキをうまい、うまいと食べられていました。普段の入院生活では決して味わえない、良い思い出になったと思います。今後も患者さんに喜んで頂けるような出し物などを企画していきたいです！

回復期リハビリ病棟  
松岡 準



クリームをのっけて...

フルーツを盛りつけて...

ソースをかけて完成！



みなさん喜んでめしあがってくれました！



スタッフ  
募集中



# 医療法人創治 竹本病院

## ワークライフバランス

当院では教育システム、育児支援の充実、多様な勤務形態を導入して、働きやすい職場作りを目指し、看護ケアの質向上へ努めるよう取り組んでいます。

## 充実した福利厚生

特別休暇制度有り。  
結婚しても働きやすい環境です。  
(委託託児所有り)  
長期勤務者には年1度ハワイ研修もあります。

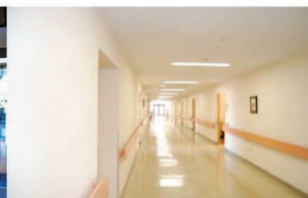
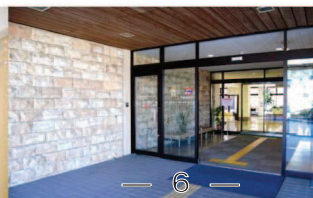
## 自然豊かな西南地域

当院は高知県西南部の四万十川に面しており、周辺にはサーフィンや釣りなどが楽しめるスポットが日々ある為、休日など利用してリフレッシュできます。

## 募集職種

医師・看護師・作業療法士  
理学療法士

病院見学随時募集中





# 診療担当医表

平成30年1月現在

	2診	3診	4診	5診
月	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
火	午前	竹本 範彦	門元 俊樹 第2・4・5のみ 橋詰 顕正 第1・3のみ	山本 さくら
	午後	竹本 範彦	門元 俊樹	橋詰 顕正
水	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	橋詰 顕正 六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
木	午前	竹本 範彦	江川 徹	山本 さくら 六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	藤永 泰宏	野島 滋 六浦 聖二
金	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	野島 滋
	午後	橋詰 顕正	竹田 修司	野島 滋
土	午前	竹本 範彦 第1・3・5のみ	竹本 育聖 第1のみ 渡邊 利泰 第3のみ	

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・山本 さくら・橋詰 顕正
消化器内科	江川 徹
内分泌内科・腎臓内科	野島 滋
総合内科	渡邊 利泰・竹本 育聖
呼吸器内科	江口 誠一

## ■診療時間

午前9時～午後5時30分

土曜日 午前中

## ■休診

第2・4土曜日

日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



## ● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

## 竹本病院 ご案内



### 交通案内

土佐くろしお鉄道  
中村駅より



タクシー

約5分



徒歩

約15分

## 患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私たちの医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。



竹本病院

広報 第47号 2018年 1月発行

〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2

電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155

発行・編集

竹本病院広報委員会  
編集長: 杉本 一等

E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp



医療法人創治 竹本病院

検索

スタッフ  
募集中

URL <http://takemoto-hp.com>

詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。